



# 学校向け kaigoカフェ企画

2015・08・20



介護人材確保地域戦略会議(第3回)(H27.8.20-21) 資料3-6-B





**大学卒業後、一般企業を経て、高齢者NPO団体設立支援や訪問介護事業所、施設や施設ケアマネージャーとして勤務する中で「未来をつくるkaigoカフェ」を立ち上げる。対話を通じて介護の新しい未来と、地域社会への還元を模索している**

**介護福祉士・社会福祉士・介護支援専門員**



# 未来をつくるkaigoカフェとは



4月15日には銀座にて、第2回介護人材確保のための地域戦略会議のプレゼンターをゲストに「介護人材を確保するには」というテーマでカフェを開催







# これまでの活動実績

(C)未来をつくるkaigoカフェ  
Photograph by Hiroki Kondo



## 学校でのカフェ活動を通じて 実現させたいこと

- 小学生に介護や福祉をもっと身近に感じてもらいたい
- 介護の仕事のイメージ(3k きつい、きたない、きけん)を変えたい
- 介護の仕事に就いてみたい、という子供や大人を増やしたい
- 介護福祉を通じて地域のことをもっと知ってもらいたい
- 家庭や地域で自分にもできることを見つけてほしい
- 困ったときに助け合える人間関係を築ける大人になってほしい
- 人の意見が聞け、自分の意見が言えるような対話力を身につけてほしい





**○小学校4年生の総合学習の授業にて、若年性認知症デイサービスの代表と認知症の方ご本人に来て頂き、認知症の理解を深める授業**



若年性認知症の当事者の方にお越し頂き、日頃困っていることやどんな風に接してもらいたいのか、などお話を伺い、紙芝居でもわかりやすく認知症の家族との関わりについて紹介



(C)未来をつくるkaigoカフェ  
Hiroki Kondo Photography





**実際に認知症の当事者の方に、紙芝居を読んでもらう。紙芝居の内容は、認知症になった人の気持ちを理解するためのもの**



(C)未来をつくるkaigoカフェ  
Hiroki Kondo Photography



## ○×クイズで認知症についてわかりやすく理解を深める



(C)未来をつくるkaigoカフェ  
Hiroki Kondo Photography





**「認知症になっても安心して暮らせる地域をつくるには」というテーマでグループワーク。身近な人に対して自分なら何ができるか、考える機会に**



(C)未来をつくるkaigoカフェ  
Hiroki Kondo Photography



Photo by Mikinari Okudaira & Hiroki Kondo

○脳性まひで車いすでありながら、カメラマンとして全国を飛びまわって活躍している方をゲストに

車椅子での日常や困りごと、またカメラマンとしてのやりがいやどんな風に将来を考えているか、など話してもらおう



(c)未来をつくるkaigoカフェ  
Photograph by Hiroki Kondo





子供達が車いすに乗っている人の持つ、歩けなくてかわいそう、というイメージではなく、どんなところにも出かけ、毎日を楽しんでいる様子を知ってもらおう。土曜日の学校公開の授業として



Photo by Mikinari Okudaira & Hiroki Kondo





**○現場での実際のエピソードから具体的な仕事内容や魅力について紹介し、漫画で、介護の仕事は大変だけどいろいろなドラマがあり、ユーモアがある、という日常をわかりやすく身近に感じる授業**



**デイサービスを舞台にした漫画で、  
高齢者の日常をユーモアを交えて紹  
介**



Photo by Hiroki Kondo



Photo by Hiroki Kondo

**漫画を真剣に読む子供達**



## 「介護のお仕事」という漫画の作者に、実際に現場で働いていた作者の思いや経験を話してもらおう







**○介護や介護に関わるお仕事の詳細な紹介と、実際に現場や介護業界で働く人達からやりがいや魅力について話してもらおう。**

**後半は自分ならどんなお手伝いができるか？どんな仕事がやってみたいか？などグループごとに対話をする授業**



**介護旅行や介護マッチング事業、チームづくりの専門家、介護漫画家、訪問美容師、ケアマネージャーなど様々な介護の仕事に関わる人の紹介**



(C)未来をつくるkaigoカフェ  
Photograph by Hiroki Kondo





## 介護現場の仕事についての質問に答える様子



(C)未来をつくるkaigoカフェ  
Photograph by Hiroki Kondo



## 介護旅行の仕事



(C)未来をつくるkaigoカフェ  
Photograph by Hiroki Kondo





## 訪問美容師の仕事



(C)未来をつくるkaigoカフェ  
Photograph by Hiroki Kondo





## 介護現場でのチームづくりの仕事







## 介護マッチング事業の仕事





## 自分なら介護の仕事、どんな仕事がしてみたい？グループワークの様子







## 子供達の感想

- ・介護の仕事のことは今まで知らなかったけどよくわかった
- ・とても大変そうだけどやりがいがある仕事だと思った
- ・こんなに介護のお仕事にはいろいろな種類があって驚いた
- ・自分のお母さんも介護の仕事をしているが、詳しく知れてよかった
- ・自分もお年寄りや障害を持っている人にやさしくしたいと思った、自分のおじいちゃん、おばあちゃんに親切にしようと思った
- ・自分から声をかけてあげようと思った
- ・介護の仕事のことをもっと知りたいと思った



## 私が嬉しかった感想

私はケアマネージャーの仕事にとってもあこがれました。とても大変な仕事だけどいろんな人を助けていてヒーローみたいでした。高瀬さんのしゃべっている姿がとってもキラキラしてケアマネージャーに憧れました。いろんなおじいさんやおばあさんにやさしくこれからもがんばってください





# Kaigoカフェ企画の特徴

■従来の介護の授業(視覚障害体験や車椅子体験など)とは違った切り口で介護福祉を紹介し魅力を伝えている

■講義型、体験型、対話型の授業をミックスして提供。介護を身近に感じ、理解を深める機会になっている



# 「介護を知るとやさしくなれる」

・子供達にとってゲストティーチャーが言った言葉がふとした時に思い出され、困っている人に、何かお手伝いすることはありませんか？と声をかけたり自然に体が動くようになっている

・友達同士の関係性や学級経営にも大きな影響がある。自分よりも弱い人を助けることで自分が活かされるという体験や問題児と言われる子供も、こんなにやさしい側面があったんだ、ということや家庭の問題などを知る機会に。人に対する関心を持ち、プラスの側面を引き出すきっかけになっている





## 学校向けkaigoカフェでの気づき

- 子供達は介護福祉のことを知る機会がない
- 先生自身に介護の魅力や教育の必要性が伝わっていない
- 担任や学年担当の先生によって温度差がかなりある
- まだまだ学校も施設を始め介護業界もどちらも閉じている、そのつなぎ役を担う存在が必要
- 子供達のやさしさを継続的に引き出すためには、継続的な関わりがとても大切
- 地域の介護事業者でも同様に開催できる体制づくり、継続的に介護の授業を提供できるしくみづくりが必要



**将来の介護を担う子供達のために、今から学校、地域の介護事業者、行政が一体となって福祉教育を根付かせていくためのしくみをつくり連携しましょう！**





介護に関わる人々が思いを語り、学ぶ、対話のコミュニティです。

<http://www.kaigocafe.com>

<https://www.facebook.com/miraikaigocafe>